

## 日本国債入門 <初刷> 正誤表

本書につき記載に誤りがありました。お詫びのうえ下記のとおり訂正申し上げます。

### ● 目次 P11

(誤) 流動性供給入札の入札

(正) 流動性供給入札の入札方法

### ● P28

(誤) 2014年

(正) 2013年

### ● P60

(誤)

上記式より  $\Delta r = \frac{1}{D} \frac{\Delta P}{P}$  となる

(正)

上記式より  $\Delta r = -\frac{1}{D} \frac{\Delta P}{P}$  となる

### ● P78

(誤) 4. Frederick, Macaulay (1938) “The Movements of Interest Rates, Bond Yields and Stock Prices in the United States Since 1856” National Bureau of Economic Research, New York.

(正) 4. Frederick, Macaulay (1938) “Some Theoretical Problems Suggested by the Movements of Interest Rates, Bond Yields and Stock Prices in the United States Since 1856” National Bureau of Economic Research, New York.

### ● P144

(誤) 9. 服部孝洋・日本取引所グループ (2022) 「日本先物オプション入門」

(正) 9. 服部孝洋・日本取引所グループ (2022) 「国債先物オプション入門」

### ● P207

(誤)

2. 齋藤通雄・服部孝洋 (2023) 「齋藤通雄氏に聞く、日本国債市場の制度改正と歴史」『ファイナンス』695, 34-45.

3. 服部孝洋・石田良・早瀬直人・堀江葵 (2022a) 「非価格競争入札入門—基礎編—」『ファイナンス』683, 14-23.

<中略>

7 . Brenner, Menachem., Dan, Galai., Orly, Sade (2009) “Sovereign debt auctions:Uniform or discriminatory?” Journal of Monetary Economics 56 (2) , 267 – 274.

(正)

2 . 齋藤通雄・服部孝洋 (2023)「齋藤通雄氏に聞く、日本国債市場の制度改正と歴史 (前編)」『ファイナンス』 695, 34-45.

3 . 服部孝洋・石田良・早瀬直人・堀江葵 (2022a)「非価格競争入札入門—基礎編—」『ファイナンス』 682, 14-23.

<中略>

7 . Menachem, Brenner., Dan, Galai., Orly, Sade (2009) “Sovereign debt auctions:Uniform or discriminatory?” Journal of Monetary Economics 56 (2) , 267-274.

● P222

(誤) BOX 2 流動性供給入札の入札

(正) BOX 2 流動性供給入札の入札方法

● P224 5行目

(誤) 発動されています。

(正) 発動されていましたが (ただし、2023年10月の決定会合により、「毎営業日、実施」という表現が削除されました)。

● P224 下から5行目

(誤) 前述のとおり、日銀はこの指値オペを連日オファーしているのですが、注意が必要なのは、日銀が毎日、10年国債を実際に購入しているわけではない点です。日銀はあくまで1%などで購入するという指値注文を出しているだけであり、日銀が金利を1%以下に誘導できている限りは、誰も日銀に割安で売る必要がないため、応札しない (札割れ) ということになります。

(正) 注意が必要なのは、日銀が毎営業日、10年国債を実際に購入していたわけではない点です。日銀はあくまで1%などで購入するという指値注文を出していただけであり、日銀が金利を1%以下に誘導できている限りは、誰も日銀に割安で売る必要がないため、応札しない (札割れ) ということになります。

● P225

(誤) 日銀は連日指値オペを実施しますが、

(正) 日銀が指値オペを実施したとしても、

● P230

(誤) 10年金利の上限の目途を1%とする方針が示されました。

(正) 10年金利の上限の目途を1%とする方針が示されました(2022年春以降、10年国債に指値オペが毎営業日発動されていましたが、この会合で指値オペを毎営業日実施するという表現が削除されました)。

● P240

(誤) 7. Takahiro, Hattori., Jiro Yoshida (2023) “Yield Curve Control” International Journal of Central Banking, forthcoming.

(正) 7. Takahiro, Hattori., Jiro, Yoshida (2023) “Yield Curve Control” International Journal of Central Banking 19 (5), 403-438.

以上